

真宗大谷派
東本願寺
shinshu Otani-ha
Higashihonganji

どう
ぼう
しん
ぶん
同朋新聞

4

Vol. 821

April
2026

Dōbō Shimbun

— 帰敬式を受けましょう —

親鸞さまと、歩んでいく



- 2面 ● 特集 真宗大谷派学校連合会を知っていますか?
- 4・5面 ● 2025年春の法要 親鸞聖人御誕生会 記念講演抄録「教えを聞く」青木 玲 氏
- 9面 ● 『観無量寿経』序分に学ぶ —王舎城の物語④—

今月の写真

ききょうしき
帰敬式を受けましょう

ぶつぼうそう さんぼう きえし、お念仏の教えを かりどころとして生きることを親鸞さまの前で誓います。現在はお寺でも受式できます。法名をいただき、お念仏の教えを聞く生活を始めましょう。
(写真:真宗本廟 御影堂)

宗派公式ウェブサイトからこの写真をダウンロードできます。各ご寺院で帰敬式の奨励にご活用ください。



英語で味わう
正信偈の世界

マイケル・コンウェイ氏
(大谷大学 文学部真宗学科 准教授)

しんらんしょうにん あらわ しょうしん げ
親鸞聖人が著された「正信偈」の言葉には、どのようなメッセージが込められているのでしょうか。英訳をとおして、一緒に味わっていきましょう。

と けん しょ ぶ じょう ど いん こく ど にん でん し ぜん まく
親見諸仏浄土因 国土人天之善悪

英訳 He viewed the causes of the Pure Lands of the myriad Buddhas, As well as the positive and negative traits of both the lands and the human and heavenly beings there.



英訳の音声 & 和訳はこちら

第四回

この二句で親鸞は、『大無量寿経』の教説に基づいて、法蔵菩薩が本願を発すことに至った経緯に言及しています。

『大無量寿経』において、世自在王仏に出会った法蔵菩薩には、衆生の苦悩のもとを取り除くために浄土を建立したいという志が芽生え、その方法を師に尋ねたと説かれています。

その問いに対して師は、二つの教えを示しました。まず「自分の願いを大事にして、とにかく頑張りなさい」と励ましました。そして全ての世界をありのままに見せました。

この二句において親鸞は、二つ目の教えを取り上げています。今回、私たちは、この二句で親鸞が「浄土の因(causes of the Pure Lands)」と「国土人天の善悪」を並べて述べている点に特に注目すべきです。

日頃の生活では、私たちは常々に幸福を求め、しかもその幸福が私たちの善悪の行いによって得られると考え、より善く生きようとしています。一方、過ちを犯すと、

不安や罪悪感に苛まれます。しかし、私たちの今ある幸福と過去の善悪の行いは、私たちがいつも感じているほどに因果関係として直結しているのでしょうか。

正直に自分の人生を振り返ってみると、私の行いの内容は、私の幸福と、それほどつながっていません。

実際に私が善いことを成し遂げることができた時には、私の思いをはるかに超えた形で合わさった因縁が、その善いことを可能にしたのです。また、悪い行いも、不可思議な因縁の結果ですから、善悪の観念に敏感に振り回される人生への臨み方に大きな勘違いがあると言わざるを得ません。つまり、私たちの通常の思考では、今の善悪を、将来の幸福を決定する因として取り違えています。

法蔵菩薩は、師の教えをとおして幸福と行いの間にある本当の因果関係を見極めました。それは、「今ある幸福が無量寿の恵みによって得られている」と論ず念仏の教えによって、私たちの苦悩を取り除くという結論に至る第一歩でした。

同朋新聞
どうぼうしんぶん

電子版は
こちら



発行所 真宗大谷派宗務所 代表者 木越 渉
編集/東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)

購読料/無料
送料/1部 1カ年1,650円
(1,500円+税10%)※部数により変動
振替口座番号/01000-6-27404
加入者名/東本願寺出版部

『同朋新聞』を毎月ご自宅にお送りすることができます。ご希望の方はこちら

同朋新聞

検索



真宗門徒として帰敬式(おかみそり)を受けましょう【帰敬式相談窓口 075-371-9185 平日9:00~16:00】

帰敬式 東本願寺

検索

小さな命に大きな願い



真宗大谷派学校連合会

真宗大谷派学校連合会を知っていますか？

2025年、真宗大谷派学校連合会は結成60周年を迎えました。全国にある加盟校では、浄土真宗の教えに基づく人間教育が実践されています。本特集では、全国各地の加盟校と毎年各校が真宗本廟(東本願寺)で実施する本山研修の様子をご紹介します。

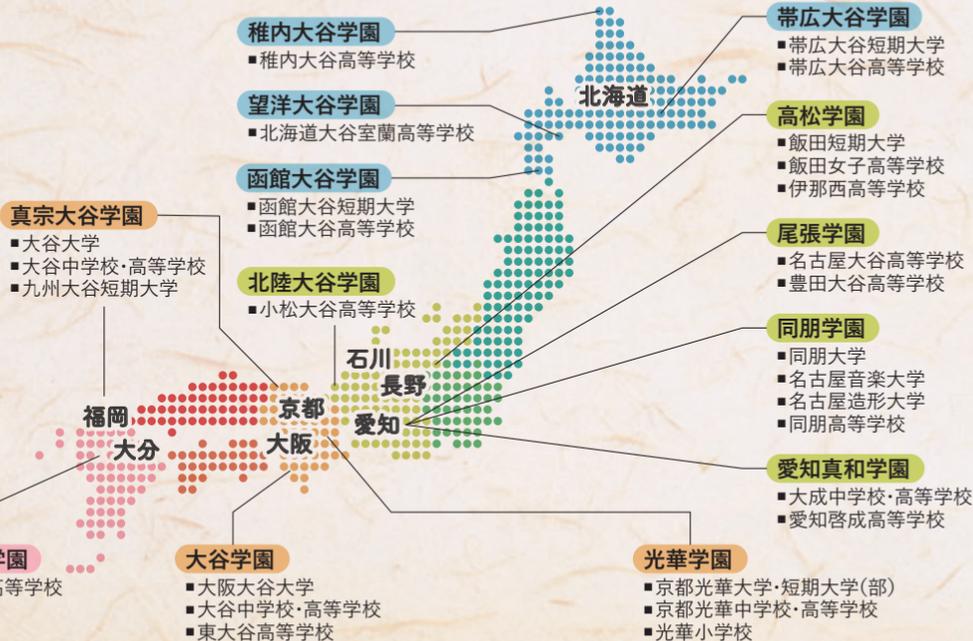
全国に加盟校がこんなにあるよ

真宗大谷派学校連合会とは

宗祖親鸞聖人の浄土真宗の教えに基づく人間教育を実践し、豊かな人間の誕生を願いとして設立された関係学校の連合組織を指します。加盟校に集う学生・生徒・児童は、日々の人間学や宗教科の授業による仏教・真宗の学びを重ね、その他特色ある学びをとおして、豊かな人間関係と柔軟な人間性を育み、社会に羽ばたいていきます。

加盟校は現在、北海道から九州に13学園33校(大学6、短大5、高校17、中学4、小学1)あり、生徒・教員合わせて約29,000人が在籍しています。

学校連合会HP



加盟校本山研修の1日

両堂参拝



小松大谷高等学校

お堂の荘厳な雰囲気の中で心静かに合掌し、東本願寺宿泊研修がスタートします。

講義



京都光華高等学校

身近な問題から、仏教・真宗の教えを聞き、「私」を問い、話し合います。

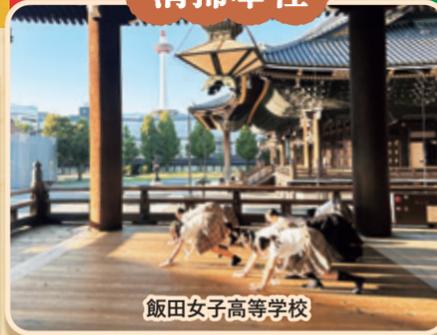
勤行・感話



光華小学校

「正信偈」をみんなで声を出してお勤めし、研修をとおして感じたこと、思い出されたことを話します。

清掃奉仕



飯田女子高等学校

お堂の縁を雑巾で掃除をすることとおして、東本願寺を大切にしていた人々の願いの歴史に触れます。

生きるということ、こんなことをゆっくり考えるのは初めてだった。



生徒の声

1日目

スケジュール

- 13時 両堂参拝・開講式
- 14時 講義
- 15時 座談
- 16時 声明練習
- 17時 夕事勤行・感話
- 18時 夕食
- 22時 消灯

2日目

- 6時 起床
- 6時20分 清掃奉仕
- 7時 晨朝参拝
- 8時 朝食
- 11時 閉講式



教員の声

忘れてはならないことを思い出させてくれる、それが東本願寺での研修です。研修は決して生徒のためだけではなく、教員のためでもあります。

毎年こんなにたくさんの加盟校が本山で研修・参拝しています！

2025年度 本山研修・参拝一覧

- 研修**
 - 学校連合会主催 「生徒のつどい」新任教職員研修会
 - 大谷大学 教化学演習Ⅱ
 - 同朋大学 仏教・別科1年生
 - 稚内大谷高等学校 2年生
 - 小松大谷高等学校 1年生
 - 飯田女子高等学校 全日制1年生・通信制全学年
 - 伊那西高等学校 1年生
 - 名古屋大谷高等学校 1年生
 - 豊田大谷高等学校 1年生
 - 大谷中学校[大阪] 1年生
 - 京都光華中学校 1年生
 - 京都光華高等学校 1年生
 - 光華小学校 3年生

参拝

- 大谷大学 (1年生・新任教職員・新任事務職員)
- 京都光華女子大学 (1年生・全学年希望者)
- 北海道大谷室蘭高等学校 (2年生・女子サッカー部【全国出場】)
- 帯広大谷高等学校 (2年生)
- 小松大谷高等学校 (硬式野球部【甲子園出場記念】)
- 飯田女子高等学校 (保護者会)
- 大成中学・高等学校 (中学1年生・高校1・2年生)
- 愛知啓成高等学校 (3年生)
- 名古屋大谷高等学校 (保護者会)
- 同朋高等学校 (3年生)
- 東大谷高等学校 (1年生)
- 大谷中学・高等学校 [大阪] (中学1年生・高校1年生)
- 京都光華中学・高等学校 (中学2年生・高校2・3年生)
- 大谷中学・高等学校 [京都] (中学全学年・高校1・2年生・高校3年生選択授業・吹奏楽部・美術科教員・保護者会・留学生・姉妹校)
- 光華小学校 (6年生)

2025年度 本山研修・参拝

総勢 **8,321人**

読者の方へ

—安心して生きていける場所—
これが加盟校に関わるすべての人びとが共有する願いです。この願いのもと、学生・生徒・児童と教員がともに学び、豊かに育ちあう。各加盟校は、これからも浄土真宗に学ぶ若者を育てることをとおして、安心して生き合える社会の実現に寄与していきます。

現在を生きる

日本全国のご門徒の方々や各地で開かれている同朋の会をご紹介します。

「忙しい日常の中で」



稲川 邦彦さん、智子さん

名古屋教区 第20組
圓福寺門徒
稲川 邦彦さん(67歳)
智子さん(66歳)

名古屋別院の近く、名古屋市中区にある居酒屋「酒食処もんや」。1999年にお店を始め、現在の場所に店を構えられてから17年。別院関係のお客さ



お手次寺の前坊守が作られた布絵。店内に飾られている。

んも多く来られるこのお店を、稲川邦彦さんと智子さんは夫婦で営まれている。
お二人は、邦彦さんの母親が亡くなるまでは、お寺のこと、仏事のこととはよくわからなかったという。「法事の際に集まった親戚たちは住職にあわせて「正信偈」を勤める中、自分たちは読めず、ただじっとしてゐるしかなかった」と語られた。そこから毎月のお勤めや年忌法要を勤めていくうちに読めるようになってきた。そして2017年、お手次の圓福寺で宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要が勤まる際に、ともにお勤めをしないかと、

お店に来られた副住職と前坊守に誘われた。法要では、普段のお勤めより重たい「真四句目下」で「正信偈」を勤めるので、最初はできるか不安に思われたが、そこから月に一回のお寺での稽古と、自宅でDVDを見ながらの練習を一年続け、無事にお勤めができた。そしてそのことをきっかけに、お寺の行事のお手伝いや聞法会に参加されるようになったという。「仏教は難しく、聞法会に参加した時はそうなのかなと思っけれど、次の月になったらさっぱりわからなくなってる」と邦彦さんは笑顔で話される。

普段の生活を伺うと、朝は市場で買い出し、昼と夜は営業、定休日は基本的に日曜日だけという非常に忙しい生活をされている。そんな中でもお寺で、月1回の同朋の会などに足を運び、さらに本山の報恩講への団体参拝や、奉仕団にも参加されている。

智子さんは、「自宅はお店から遠く、忙しくて不在にすることが多いので、地元でのお付き合いが少ないんです。だから、お寺に行くといろんな方に会えて、それぞれ違う考え方を聞かせてもらえることがありがたいですし、おもしろいですね」とうれしそうに語られた。

人と人との出あいの場としてのお寺の役割を感じさせられるとともに、ご多忙な中でも聞法生活を続けられる稲川さんご夫婦の姿勢に、頭のさがる思いがした。

名古屋教区通信員
廣瀬 彰紀

縁 31回 お寺の掲示板

お寺の掲示板に込められたさまざまな願いを、今月の言葉と一緒に毎月お届けします。



福照寺 (新潟教区 第23組)
新潟県新潟市北区下土地亀301番地
住職 中富 正純

眠れない夜を
嘆く者は多いが
目覚めた朝に
感謝する者は少ない

けがをしたり、風邪をひいたりすると健康のありがたさを感じますが、それが治るや否や私たちは、その気持ちを忘れてしまうことがあるのではないのでしょうか。当たり前のように毎日を過ごしているけど、どんな毎日でも、今という時間は決して当たり前でなく、ずっと変わらないものではない。今あることすべてが有難きことだと、あらためて私自身考えさせられた言葉です。

10年前から始まった福照寺の掲示板は、車通りの多い川沿いの道路から見える位置にあり、月一で住職が書かれた法語やお寺の行事の告知が貼り出されている。

掲示板を設置して最初に掲示したのは除夜の鐘のお知らせ。すると例年と比べて、普段は来られない方々がたくさん集まり、掲示板が道行く方の目に留まっていることを実感したという。

その掲示板に法語を貼り出すことについて住職は、「目を留めてくださった方が何かしらを感じて、その方の生きる力になれば」と願っているという。なるべく難しい言葉や仏教用語は使わず、パッと見た時のインパクトと、

誰でもわかりやすい言葉を選ぶことをとても大事にしているそうだ。今まで掲示してきた言葉は何枚にもわたり記録に残されていて、その時々々の反響も住職の記憶にしっかりと残されている。

「当たり前」をなくしてから「あつたこと」が当たり前じゃなかったことに気づくわが身。そんなわが身に気づかせていただきながらも、日常生活の中でその気づきが薄れていくのが身。

日々の生活の中、ふと問いかけてくれる掲示板の意義に、あらためて、出遇わせたい。いただいた。

新潟教区通信員
本多 真淑

2026 OPEN CAMPUS

大谷大学のRealな学びを体験しよう!

4/26日
5/31日
6/21日



保護者の方だけの参加も大歓迎です!

詳細・事前申込みはこちらから
当日参加も可能!

お問い合わせ: 入学センター
〒603-8143 京都市北区小山上地町
TEL: 075-411-8114(直通)

Be Real
寄りそう知性

大谷大学

真宗大谷派
東本願寺
Shinshu Otani-ji
Higashihonganji

電子版

『同朋新聞』ページ ぜひご覧ください!

PC、スマホ、タブレットで文字の大きさを自由に変えられます!

記事ごとのバックナンバーも読めます!

紙面PDFとウェブページ版の記事がご覧いただけます!



ぜひ、有縁の方にもおすすめください



『同朋新聞』の最新号をメルマガにて配信します!

しんらん交流館メールマガジンでは毎月第2・第4土曜日の朝に文章による法話をお送りしています。また、毎月1日に『同朋新聞』最新号の電子版を配信いたします。ぜひご登録ください。

家族や知人にもおすすめください!

メルマガの登録はこちら



家族や友人など有縁の方に『同朋新聞』を配りましょう



お子さんやお孫さんと一緒に、
つくって食べて、
春を感じてみませんか?
「さくらもち」



【材料】(10個分)

- 白玉粉...70g
- 水...160cc
- 薄力粉...70g
- 砂糖...6g (小さじ2)
- 食紅...少量
- あんこ...150g
- 桜の葉の塩漬け...10枚



桜の葉は、水で
塩抜きをしておいてね!
苦手な子は葉っぱなしでも
大丈夫だよ!

つくりかた

- ボウルに白玉粉を入れ、
水を加えながら、
ダマがなくなるまで混ぜます。
- 薄力粉、砂糖、食紅を加え、
さらに混ぜます。
- フライパンまたは
ホットプレートを熱し、
スプーンで
薄くのぼしながら、
弱火で両面焼きます。
- きれいな面を下にして、
あんこを15gずつのせて
クルクルと巻きます。
- 桜の葉の塩漬けで巻いて、
できあがり!

焦げつかない
ように
気をつけてね!

美味しそうじゃのう〜。
ワシはあんこが
大好きなんじゃ。

完成!

あしあと



子どもたちは大人のような相を見ているのでしょ
うか。今だけ、金だけ、自分だけ、「三だけ主義」。そこにある
のは短期的視点、金銭的価値の偏重、そして利己主義を恥
じることもなく日本人が一番とはしゃいでいる相です。
あるいはコスパ(コストパフォーマンス)費用対効果、タイパ(タイムパフォーマンス)時間
対効果という効率化をひたすら追い求め疲弊する相。平和が大切だと言いつつ武器も基
地も核武装まで必要だと言う相。命が大切だと言いつつ戦争を止めることもできず、死刑
という人殺しは必要だと言う相。外国人を差別し排除せよと騒ぎ立てている相。
子どもたちは大人になることに希望や夢がもてるのでしょ
うか。お釈迦さまには三十二相という特徴があると伝えられています。その一つが千輻輪相
です。足の裏に車輪の文様があり、お釈迦さまの歩まれた相が足跡のように残されました。
私たちはどのような相を残していけるのでしょ
うか。

元大谷派児童教化連盟委員長 加藤 久晴
(名古屋教区 圓福寺)

大谷派児童教化連盟とは?

大谷派児童教化連盟は、全国の真宗大谷派のお寺などで開かれる
日曜学校や子ども会と連携し、児童とともに歩む活動を行っています。



社会福祉法人堂角舎
がみいしづこどもの森

岐阜県大垣市・大垣教区



当園では、隣にあるお寺の本堂で
時々遊ばせてもらっています。そん
な日常の風景を眺めながら思うの
は、「仏さまと子どもはよく似合う」
ということ。静と動、穏やかな仏さま
と賑やかな子どもたち。コントラスト
が効いています。いつでも受け入れ
てくださる仏さま。やはり人が周
りに集ってこそその仏さまだな、と思
われますね。



子どもの
ひとこと

「先生なにしてたの?」

「お勉強してたんだよ!」

「おべんとう!? いいなあ」
2歳 女の子



このページは真宗大谷派の
青少年教化事業に関する
青少年センター、大谷保
育協会、真宗大谷派学校連
合会がお届けします

こども画伯



題名

白いぞうさん ののさまといっしょに
お氷のみにいくんだよ

今月の画伯

野沢 映斗さん

認定子ども園
つくし幼稚園(新潟県)

画伯のきもち

花まつりで白いぞうさんと
いっぱい歩いたから
のどが渇いたんだよ。

でんごんば ども会 & 教材紹介

お釈迦さまがお生まれになった
時、「尊いお方がお生まれになっ
た」と、地面もお空もみんな大変
喜び、甘い雨が降ってきました。
その甘い雨にちなんで、お釈迦さ
まの誕生日には、生まれたばかり
の姿のお釈迦さまの誕生仏に甘
茶をかけてお祝いします。

なんで甘茶をかけるの?



花御堂について
詳しくはこちら →



4月1日(水)~8日(水)には、
御影堂門の下に花御堂があるので、
ぜひみんなで甘茶をかけきてね!
親鸞さまも待ってるよ!



あかほんくん

親鸞聖人がお念仏の教えを自分のところまで届けてくださった師として、生涯大切に仰がれた方々がいます。「七高僧」と呼ばれるインドの龍樹・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の源信・源空(法然)。そして「和国の教主」と仰がれた聖徳太子です。親鸞聖人は彼らからどんな「ひかり」を受け取られたのでしょうか。源空について、3回にわたってたずねています。

ひかり

七高僧と聖徳太子

第28回



源空上人



阿弥陀如来

化してこそ

本師源空と

しめしけれ

化縁すでに

つきぬれば

浄土にかえり

たまいにき

〔高僧和讃〕
『真宗聖典 第二版』六〇六頁

〔現代語訳〕

阿弥陀如来は、衆生教化のために根本の師である源空上人の姿を示したのだった。今となっては、衆生教化の縁が尽きたので源空上人は浄土にお還りになったのだ。

浄土に還る

浄土教では、人が亡くなることを「還浄」、「浄土にお還りになる」などと表現することがあります。それは、その人が私たちを教化するために、浄土からやって来た仏(如来)だったと感じられたからでしょう。

「如来」とは、如(真実)から来た者という意味です。源空上人は、真実の世界から私たちを教化するためにこの世界にやって来た仏だと、親鸞聖人は捉えていたのです。源空上人の教えは、人びとに等しく浸透していきました。そのさまは、周囲の人びとにはまさしく仏の神通力のように感じられたことでしょう。

さまざま背景を超えて

源空上人の時代は、現在とは比べものにならないほど社会が分断されていました。異なる階層では異なる文化が育まれます。そういった分断された社会の中では、言葉遣いも別ものになってきます。別の階層に属する人は、いわば「話の通じない人間」と映ったことでしょう。当時は、そういった異なる階層の人びとが同じ場所に集うことは、まざりませんでした。もしそのような場があれば、社会規範から著しく乖離していると考えたことでしょう。

そのような時代背景にもかかわらず、源空上人の生涯を描いた絵巻には、さまざま人びとが描かれています。源空上人の会座には、普段の生活では触れ合うことがない

ような異なる階層の人びとが、ともに集っていたのです。

それは、単に多くの人が集まっていたというだけではありません。これらの人びとは、源空上人が明らかにされた念仏の法を聞くために集まっていたのです。

ひかりの証明

さまざま人が法を喜んでいくということは、特別な意味を持っていました。それは、阿弥陀仏の本願のひかりがどのような人に対しても真実としてはたらくという証明であつたからです。

源空上人は、当時の常識に反して、どのような人にも分け隔てなく本願の教えを説きました。その教えを聞いた人びとが喜ぶ姿は、本願のひかりが、人びとの違いを超えて届くことを証明していたのです。

優れた仏教者が亡くなることを「遷化」とも言います。これは、「教化の場所を遷す」という意味です。源空上人は、この世界で教化すべきことを十分に伝えきつたから、教化の場所を遷したのです。そのお仕事とは、どのような背景を背負った人をも等しく阿弥陀仏のひかりに遇うことができるということを証明することでした。



わけみ あきら
采翠 晃
大谷大学文学部
仏教学科教授
京都教区近江第25西組
長光寺住職

『観無量寿経』序分に学ぶ(第4回)

— 王舎城の物語④ —



鶴見 晃
同朋大学文学部
仏教学科教授
岡崎教区第32組
善正寺衆徒

親鸞聖人が大切にされた浄土三部経の一つである『観無量寿経』序分には、どのようなことが書かれていて、“今”を生きる私たちに何を伝えているのでしょうか。「東本願寺 日曜講演」の講演録をもとに丁寧に紐解いてまいります。
「施陀羅」表記について…『真宗聖典 第二版』では「梅」を用いていますが、本連載では引用文を除き、一般的に使われる「施」を用います。

前回、「是れ施陀羅なり」という言葉を取り上げました。この言葉は、母・韋提希を殺そうとするマガダ国の王子・阿闍世に対して、それを止めようとした大臣の諫めの言葉でしたが、これが古代インドの差別を表していました。

この古代インドの差別が日本の差別とも大きく関係しているのです。仏典の中には施陀羅(チャンダーラ、古代インドの被差別民衆)がたくさん説かれています。その中で大乘経典、例えば『涅槃経』などには、「施陀羅」という言葉が多く出てきます。このような仏典を通じて日本にも施陀羅のことが伝わったのです。

そして日本では、親鸞聖人の時代には施陀羅という存在が日本の差別と関係して言及されています。施陀羅が「いき物を殺してうる、えた体の悪人」と説明され「塵袋」、日本の被差別民に当てて語られるようになったのです。

そうして日本における差別の中で、この施陀羅という言葉が差別として機能してきました。ですから、約百年前、被差別者自身の自主的な解放運動を訴えた全国水平社が創立された時に、その創立のメンバーでありました西光万吉という方が、この施陀羅という言葉をとおして、差別の痛み、そして怒りを語っていかれました。施陀羅として差別される苦悩に、自らの被差別の苦悩を重ねて、差別の痛苦を訴えたのです。西光氏にとって、インドの差別は、日本社会における差別と別なことではなく、差別という、この人間社会の問題をこの施陀羅という言葉によって、非常な怒りをもって告発されたのです。また、戦前・戦後を通じて部落解放運動に尽力された井元麟之氏も、この施陀羅という言葉の訂正・削除を長年訴えておられました。

私は、大学時代に真宗教団が部落差別を温存・助長してきた歴史を学びました。しかし、この問題が自分の課題となったのは、正直に申しまして、教学研究所に入所して宗派の取り組みに関わる

ようになってからです。その中で常に考えてきたのは、信心をいただくということは、この差別という問題を課題としていただくことである、ということなのです。

ただお釈迦さまの時代や親鸞聖人の時代に、差別や人権といった概念は存在していません。近代になり個人を基礎とする社会が形成されていくにあたって、その個人の権利として人権という概念が生まれてきたとされます。その上で個人の権利の不平等、差別が社会の問題となってきたわけです。

そのように私たちが生きる現代社会では、お釈迦さまや親鸞聖人の時代と異なり、平等が前提となつていきます。皆、平等であると知っています。しかし、現実の私たちは、自他を上下に分かち、時にうらやみ、時に蔑む。平等を知っていることと、本当にそれに深くうなずくということは異なるのです。そしてここに凡夫として生きる事実がある。平等を知ってはいても、それを本当に生きることが私たちに難しいのです。

親鸞聖人は、「りようし・あき人、さまさまのものは、みな、いし・かわら・つぶてのごとくなるわれらなり」(『唯信鈔文意』、『真宗聖典 第二版』六七八頁)とおっしゃいます。親鸞聖人は、当時、悪とされた人びとと同じ、「われら」であると言いつけられた。誰もが阿彌陀仏の本願の前に等しく凡夫である。親鸞聖人の「われら」というお言葉には、凡夫であることの痛みの中に、深くうなずかれた人間の等しさが表されています。ここに差別が、信心の課題であると申し上げる理由があります。しかし信心を獲れば差別がなくなるという話ではありません。むしろ差別という課題を本質的に抱えるのが、凡夫です。その凡夫の身をいかに生きるのか。そこに『観無量寿経』の教えの意味があると思います。

(続く)

濁浪清風

文・本多弘之



親鸞仏教センター所長
東京教区東京1組
本龍寺住職

連載コラム 第10回 本願の信心—本願力について(三)

「本願力」とは、曇鸞大師が言われるように、願力成就である阿彌陀如来の力ということなのです。しかしながらその力は、私たちに、まったく関係がないように思われています。この世のいわゆる力なら、たとえ自覚的ではなくとも、わかることとがあります。たとえば重力です。なぜリングが木から落ちるのかと疑問を抱いた人が、見いだした力だとされています。重力は普段、私たちの意識には自覚されてはいません。けれどもあらゆる地球上の物体には、くまなく重力がかかっていて、宇宙に拡散していつてしまわないはたらきをしているのです。

また、私たち人間の生命活動には、免疫力といわれる力がはたらいています。免疫力も、私たちの意識にあがることはありません。この力は、医学的な知見によつて見いだされたものでした。この力をもし人が失うなら、細菌によつてたちまちその人の生命は滅ぼされるでしょう。

このように平生は、私たちには意識することのできない無数の力が、与えられてはたらく続けているのです。仏教は、そういう無数の力をこの世の有限なる力であるとして、それを超えた力として、「本願力」があると教えるのです。

このように、自覚されにくい力を自覚させることによつて、人間の根本の闇を晴らすことになるというわけです。この根本の闇は、普通は意識上に自覚されてはいません。自分では自分の存在自体に付帯する闇を見ることはできないのです。先のたとえのように、意識されないのです。この闇の中で生命活動が成り立っているからです。けれども、そのことで実は生死の苦しみ煩惱の苦悩を受けているわけです。そこに願力成就の力が、無碍にはたらき続けると教えられる意味が出てくるのです。

龍樹菩薩の作とされている『十住毘婆沙論』易行品では、たくさんの諸仏の名を念ずる行が出されていて、そのなかに阿彌陀如来の名もあるのですが、阿彌陀如来には本願があると指摘されています。その本願は『阿彌陀経』六方便では、無数の諸仏が経の真実であることを証明しており(説誠実言)、善導大師はその意味を、諸仏が称名念仏を衆生に勧めているのだ、と言われるのです。それを釈迦諸仏如来の出世本懐であると、親鸞聖人は見ているのです。阿彌陀如来の本願には因果があり、願因の面を法蔵菩薩の本願として説き表し、願果の面は、阿彌陀如来の仏身・仏土となることにも、衆生の上に信心の因果を付与する力になるのだ、といただいているのです。

親鸞仏教センターのウェブサイトでも
本多弘之氏のコラムをお読みいただけます。



鹿

児島別院は、南九州最大の繁華街である天文館にもほど近い鹿児島市の中央、大門口通にあります。過去には薩摩藩・島津氏の民衆支配の一環として宗教統制(念仏禁制)がなされ、一向宗(浄土真宗)禁制の時代が続いた歴史があります。

当時、浄土宗や時宗は、むしろ保護の対象とされました。ことさらに浄土真宗を禁じたのは、やはり親鸞聖人や蓮如上人の教えそのものが、島津氏の理念と相容れず、また、信長や秀吉、家康が手を焼いた一向一揆に代表される、真宗門徒の何ものをも恐れぬ団結力に対する危機感や嫌悪感が、念仏禁制へと踏み切らせたのだと考えられます。しかしながら、これらの弾圧の中でも念仏相続の灯が消

えることはなく「かくれ念仏」といわれる講が組織されました。薩摩藩においては、1865年に、全国に先駆けて廃仏毀釈が徹底して行われ、人びとは神道以外の宗教を禁じられましたが、真宗門徒はそれを拒否し、弾圧を受けながらも「かくれ念仏」講を続けてきました。信教自由の布達により、ようやくこの地に信教の自由が訪れたのは、1876年のことでした。1878年の仮別院完成から1945年の空襲による焼失などを経て、現本堂は1962年に完成しました。2026年3月には、薩摩真宗禁制解禁150年法要(第1期九州教区慶讃法要)が厳修されました。鹿児島別院の会館内には「かくれ念仏」資料展示場が常設され、いつでも見学することができます。

BETSUIN TRAVEL 第4回!

別院旅行

国内外あわせて55ある真宗大谷派の別院。教化伝道の中心道場として、真宗門徒の信仰の歩みが色濃く表れています。そんな各地の別院を紹介していきます!



鹿児島別院

長谷山 法雄 輪番 鹿児島県鹿児島市 新町2番13号
TEL 099-226-0110



経路

- 電車 市電「いづる通駅」下車徒歩5分
- バス 南国交通「新町」、鹿児島市バス「新町」下車徒歩すぐ

輪番のおすすめ スポット



花尾隠れ念仏洞

■アクセス
車:鹿児島中央から40分
JR九州バス:
「花尾神社前」下車、
徒歩20分



鹿児島市花尾町にある「花尾隠れ念仏洞」。道路から山道を約200m登っていくと、高さは約1.4mの洞穴があります。入口は三角形で洞穴の奥は8帖ほどのスペースとなっています。浄土真宗の禁制が解かれるまで仏像や仏具を隠し、お念仏を称えていたと伝えられています。

教えて住職!

Q

花まつりとは
どんな行事
なのでしょう?



A 「花まつり」は4月8日のお釈迦さまのご誕生を祝って、毎年寺院などで行われる仏事です。

色とりどりの春の花で飾った「花御堂」に、お釈迦さまの誕生されたお姿(誕生仏)を安置し、甘茶を濯ぎかけてお祝いします。これは、お釈迦さまが4月8日にネパールのルンビニーという村の花畑で誕生されたとき、空から甘露の雨が降り注いだという伝説にちなんでいます。

お釈迦さまは、今からおおよそ2500年前、インドの北部、釈迦族の王子として誕生しました。そして生まれてすぐに七歩あゆみ、右手は天を、左手は地を指し、「天上天下唯我独尊」(天にも地にも、ただ我一人にして尊し)と声高らかに宣言したと言われています。

これは、私たちが生きている六つの迷いの世界(六道:地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天)から出られ、私たち一人ひとりがほかの誰とも代わることのできない者として誕生し、尊いいのちを生きているのだということを伝えてくださる、お釈迦さまからの大切なメッセージなのです。

一人ひとりが迷いの世界を超え、誰とも代わることのできない尊い者であることに目覚め、生まれた意義を確かめる機縁として、お釈迦さまのご誕生をお祝いしましょう。

7面「でんごん場」もチェック!

驚いたのは、いのちを奪った申し訳なさを、「悦び」が上回ったことです。これこそが「いのちを頂く」ということなのか。自分が人間であることを強く意識させられた瞬間でした。

両手に収まるほどの小ぶりな一匹で

太田陽介(植彌加藤造園株式会社)

焼くと、川魚特有の強い癖が香りました。一口運ぶと、豊かな脂が口中で溶け、力強い香りが鼻腔を抜けます。旨い。

私には、その要因は「癖」にあると感じています。現代は食べやすさを追求し、苦みや毒(薬効)といった「癖」を削ぎ落としてきました。その結果、私たちは胃袋が物理的に満たされるまで食べ続けても、どこか飢えている、そう感じます。

「癖」とは、その生き物が野生として生きた証、つまり生命力そのものです。「癖」のあるものを食し、少量で満たされる。それは、庭という小さな自然を介して、大きな「いのちの循環」につながる直される経験でした。

ワンポイントアドバイス

庭を介して、コントロールできない自然の理に触れてみる。

他力の庭

東本願寺の庭師コラム 第4回

庭を食す

庭は自然への畏敬の念から始まりました。では、庭を「自然」と捉えた時、そこにある「いのち」を食すと、何を受け取ることができるでしょうか。

先日、ある庭の鯉をいただきました。泥吐きを終えた鯉に手を合わせ、その心臓を突く。三枚におろす途中で、鯉が跳ねました。頭を落とす途中で、鯉が見せつけられたのと同時に罪悪感が込み上げてきました。



三枚におろした鯉

新刊



忘れられない言葉 川村 妙慶 著

—30のまなざしと仏の教え— 168mm×120mm 152頁/定価:1,100円(税込)

生きる道を静かに 灯し続ける、30人の 言葉と仏の教え。

ブログやラジオなどで多くの方の悩みに寄り添ってきた僧侶の川村妙慶氏。本書では生きる道を照らすきっかけとなった30人の言葉を紹介。言葉に息づくまなざしから、仏の教えをたどっていきます。

掲載されている言葉の一部をご紹介します

- 漫才師 オール巨人さん 一日の始まりは、まず心を開くこと。その心を開く合図が「挨拶」です。
- 脚本家 山田太一さん 過去の栄光にすがらる必要はない。人はみな、今の生き方そのものが誰かのモデルになっている。
- 解剖学者 養老孟司さん 身内ほど 伝わらないことがあるのですね



伝記 親鸞聖人

草野 顕之 監修 A5判 128頁
上垣 厚子 イラスト 定価:1,760円(税込)

4月1日は親鸞聖人の お誕生日

浄土真宗の宗祖・親鸞聖人の生涯を、親しみやすいイラストを織り交ぜながらやさしくつづる伝記。各章ごとに親鸞聖人の教えの言葉を意識付きで紹介。宗祖のご生涯を学ぶならこの書籍がおすすめです!

イラストつきで
読みやすい

毎月 76万部 発行

広告募集中!



お問い合わせは
こちらまで!

books@higashihonganji.or.jp

ご注文・お問い合わせは



TEL 075-371-9189 FAX 075-371-9211

東本願寺出版
オンラインショップ



今月号の『同朋新聞』を読んで、

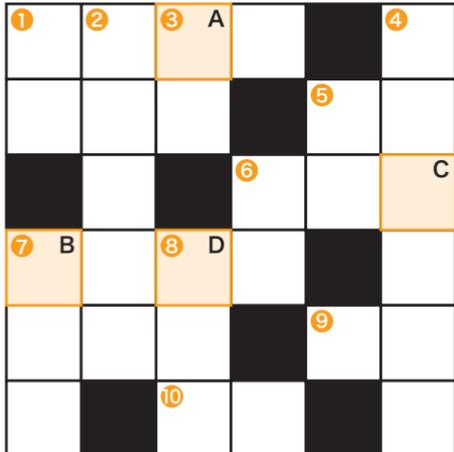
クロスワードパズル

を完成させよう!



「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、クロスワードパズルを完成させましょう! 4月号の『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!

2月号のクロスワードパズルの答えは、
な
の
は
な



タテのカギ

- 1 「縁—お寺の掲示板—」今月の法語は「眠れない夜を嘆く者は多いが目覚めた〇〇に感謝する者は少ない」です。(3面)
- 2 私たちの宗旨は浄土〇〇〇〇〇です。
- 3 月刊『同朋』4月号の特集は「ともだち—同朋で〇〇こと」です。(12面)
- 4 月刊『同朋』4月号の特集では「同胞(はらから)」と〇〇〇〇、〇〇〇んや地縁、社会的地位、人種や性差などととまらないつながりとは何か。「同朋」という言葉に迫ります。(12面)
- 6 1日に一度はお内仏へ 月に一度はお寺へ 年に一度は本山へお〇〇りしましょう(9面柙下)
- 7 「特集」真宗大谷派学校連合会加盟校の共有する願いは「—安心して〇〇〇いける場所—」です。(2面)
- 8 「ひかりを伝えたい」と「阿彌陀如来化してこそ 本師源空としめしけれ 化縁〇〇〇つきぬれば 浄土にえりたまいにき」(8面)

- 1 「てらこや大谷」今月の「リレーコラム ともに」のタイトルは「〇〇〇〇」です。(6面)
- 5 〇〇たのお悩みお聞きします 東本願寺いのちとこころの相談室 075-371-9280(毎週木曜13時~17時 ※祝日・行事日は閉室) (11面柙下)
- 6 「教えて住職!」「花〇〇〇」は4月8日のお釈迦さまのご誕生を祝って、毎年寺院などで行われる仏事です。(10面)
- 9 『伝記 親鸞聖人』は浄土真宗の宗祖・親鸞聖人の生涯を、親しみやすいイラストを織り交ぜながらやさし〇〇づる伝記です。(10面)
- 10 「英語で味わう正信偈の世界」「親見諸仏浄土因 国土〇〇天之善悪」(1面)

答え

A	B	C	D
---	---	---	---

※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。



- 「英語で味わう正信偈の世界」英語は苦手ですが、英訳をとおしてマイケル先生が気づいたことなどを読むのが楽しみです。英語の勉強にもつなげてみたいと思います。(新潟県40代)
- 「特集」帰敬式の安本住職のお話はWEBでも拝読しました。さまざまなお経験を経てのお言葉にあらためて感じ入りました。(愛媛県50代)

正解者の中から抽選で3名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1,000円分」、2名様に月刊『同朋』をプレゼントします!

郵便はがきにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「性別」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、右記までご応募ください。今月号の締め切りは5月10日(日)(当日消印有効)です。

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 宛先 東本願寺出版 「クロスワードパズル係」まで

Googleフォームでも応募できます! 応募はこちら

〈ご注意〉◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。◆個人情報はプレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。◆感想は「読者のお便り」や「読者のこえ」に掲載する場合があります。◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。

真宗本廟奉仕に参加しよう!

真宗本廟境内には、全国から来られるご門徒と寝食をともにして真宗門徒の生活を習う「同朋会館」があります。お友達と一緒に、真宗本廟奉仕にぜひご参加ください。皆さまのお越しをお待ちしています。

参加者の声

大切な友人が1週間前に突然亡くなり、今まであまり実感しなかった「死」というものを強く意識した中での上山でした。「どうして」「なぜ」という疑問ばかりが浮かんでいましたが、「死」を自然に受け入れられるような気がしています。(60代 女性)



上山された団体(2026年2月)

- 北海道 第16組門徒本山奉仕団、南第3組後期教習 東北 山形第9組宗蓮寺奉仕団
- 新潟 第15組門徒会奉仕団、三条真宗学院同窓会 金沢 第9河北組同朋の会推進講座
- 小松大聖寺 第1組本善寺聞信会奉仕団 福井 第3組推進員養成講座後期教習
- 大垣 第16組門徒会 岡崎 第13組門徒会奉仕団 名古屋 教化センター研究生奉仕団
- 京都 石西組法蔵寺森本家奉仕団、丹波第3組たんさん奉仕団 九州 山門西組門徒会奉仕団、八女組専勝寺奉仕団 その他 親鸞仏教オンライン学会

お申し込み・お問い合わせ

1団体5人以上でお申し込みください。個人でも参加できる奉仕団があります。(春の法要奉仕団、おみがき奉仕団、報恩講奉仕団、お煤払い奉仕団)

希望日の40日前までに、電話もしくは同朋会館ホームページから予約のうえ、上山される1カ月前までに申込書を提出ください。

2泊3日) 18,000円、米2kg(1升4合) または米代1,300円
1泊2日) 13,000円、米1.2kg(8合) または米代800円

同朋会館・研修部 TEL:075-371-9185 奉仕団の予約はこちらからできます

真宗本廟

開門・閉門時間 3月~10月 5時50分~17時30分 11月~2月 6時20分~16時30分

詳しくはこちら

しんらん交流館

開館時間/9時~17時 休館日/毎週火曜日

(1階)カフェ シュイロイスト 営業時間/9時~18時 定休日/毎週火曜日

詳しくはこちら

渉成園

開園・閉園時間 3月~10月:9時~17時 (受付16時30分まで) 11月~2月:9時~16時 (受付15時30分まで)

詳しくはこちら

大谷祖廟

開門・閉門時間 5時~17時 納骨・読経受付時間 8時45分~11時30分 12時45分~15時30分

詳しくはこちら

読者のお便り

子どもたちと作った びゅんびゅんごま

三重県松阪市在住 女性(70代)

毎月『同朋新聞』をご住職からいただき拝読しています。1月号から始まった「てらこや大谷」の「いっしょにあそぼう」は大変参考になりました。

私は友人から誘われたことをきっかけに、4年ほど前から学童施設で働いています。日頃から子どもたちと遊べるものを探していたのですが、なかなか見つかりませんでした。

『同朋新聞』1月号を読んでみると「いっしょにあそぼう」のコーナーに「びゅんびゅんごま」の作り方が掲載されており、子どもたちとこれを作ろうと思い立ちました。

学童の子どもたちがどんな絵を描いたら面白いかなと、みんなで試行錯誤している姿は心温まるもので、完成した時、子どもたちは笑顔いっぱいでした。上手に回すのは

少し難しそうでしたが、『同朋新聞』をきっかけに子どもたちと楽しい時間を過ごすことができました。

3月号では「草花でたたき染め」が紹介されていて、また子どもたちとチャレンジしてみようと思います。これからも活用させていただきますのでよろしくお願い致します。

お便り募集

『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。

宛先 Eメール/shuppan@higashihonganji.or.jp FAX/075-371-9211 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版同朋新聞編集係

◆住所・氏名・年齢・電話番号を明記してお送りください。紙幅の都合上、掲載時は添削・抜粋させていただく場合があります。

京扇子司 京扇堂

●本店● 京都市下京区東洞院通正面上る筒金町46 Tel.075-371-4151

東本願寺御用達 日下念珠店

〒600-8174 京都市下京区烏丸通花屋町下ル 電話 (075)351-6325 フリ-FAX 0120-89-5255 定休日:日曜日

縁 えん

一納骨・帰敬式 同朋会館宿泊プランー 納骨・帰敬式でのご参拝を縁に、同朋会館での生活を体験してみませんか?

詳細・お問い合わせ

同朋会館 TEL:075-371-9185(直通) 研修部 E-mail: dobokaikan@higashihonganji.or.jp 吳加金 1人:10,000円/小学生以下:5,000円(1泊朝食付) 詳細はホームページまたはお電話でご確認ください。

救援金を勧募しています

宗派では、「令和6年能登半島地震」に対する救援金を勧募しています。皆さまからの温かいご支援をお願い申し上げます。

救援金口座 郵便振替口座番号 00920-3-203053

加入者名 真宗大谷派 ※通信欄に「令和6年能登半島地震」と記載ください。

救援金総額 252,542,008円 (2026年3月1日現在)

リアル高齢者マンガ

地獄なアイツ

作:護法/絵:こ原

※いつも明るい気分になりたい人は読まないでください



そりゃ比べちゃうよね、人間だもの。

宗務役員(一般職)を募集しています!

採用時期 2027年4月1日付採用(試用期間あり)

応募資格 ①高等学校卒業またはこれと同等以上の学力を有すると認められる者②真宗大谷派の僧侶または門徒(帰敬式を受式し、所属寺が明確であること)

提出期間 2026年4月1日(水)から24日(金)まで

お問い合わせ 真宗大谷派宗務所 総務部 宗務役員募集係 TEL:075-371-9272

真宗本廟(東本願寺)では、毎日さまざまな匠たちがお仕事をされています。日頃は表立ってなかなか見えない東本願寺の日常を支える匠たちを紹介します!



読者への一言

うれしいことや楽しいことばかりでなく、不安や生きづらさを抱えたり、誰かに話を聞いてほしいけれど、ままならない時だってありますよね。それでも、だからこそ会いたい、誰かに手渡したくなるような『同朋』を編集チーム5人でつくってまいります。ご感想をお待ちしています。

大切にされていることはありますか?

「今ここに居る」ということです。その中で何ができるのか。何か大きな言葉や仕組みより、むしろそこからこぼれ落ちて見えていないもの、聞こえていない声を大切にできたら、と思っています。

仏教の言葉が語られていなくても、その人から真宗の教えが響いてくることあります。社会の課題、私の困りごとなど身近なテーマをとおして、ともに考え、手を取り合えるような『同朋』でありたいと思います。

どんなお仕事をされていますか?

月刊『同朋』の編集です。誌面の企画から、取材、執筆など、今伝えたい人の姿や言葉と日々向き合っています。仏教や真宗の教えが大事にしてきたことを、この時代に多様な角度から読者と一緒に考えていきたいです。



お東さん OHIGASHI インフォメーション

「教研通信」を新設 — 研究職員によるコラム連載はじまる —

教学研究所では「浄土真宗ドットインフォ」内に、本年2月より「教研通信」欄を新設し、研究職員による「テーマ連載」と「響—ECHO—」(フリー随想)を、毎月15日に更新します。

今回の「テーマ連載」は、「釈尊をたずねて」。さまざまな時代や地域で確かめられてきた釈尊をたずねてまいります。「響—ECHO—」では、日々の生活上の課題や関心事などについて、仏教の視点から随想を執筆していきます。ぜひご覧ください。

修学旅行生参拝案内のお知らせ 無料!

僧侶(案内スタッフ)が東本願寺の歴史や仏教の教えも交えながら修学旅行生の予定に応じてご案内します。

開催期間 2026年5月13日(水)~6月6日(土) 8:00~11:00
 ※6月4日(木)までは平日のみ開催
 ※5月27日(水)・28日(木)、6月1日(月)・5日(金)は休み

ご逝去のお知らせ

家田鐵彦 参議会議員、名古屋教区第9組教西寺門徒。2026年1月25日逝去。85歳。2016年から今期までの4期にわたり参議会議員を務められました。

2025年度真宗大谷派仏教青年同盟大会 開催のご案内

初めて仏法に出会う方、学校・仕事・育児などで忙しく毎日をご過ごされている方、ともに、聴き、語り、分かち合いましょ!

期間 2026年6月20日(土)~21日(日)
会場 福島県二本松市 眞行寺

「真宗本廟子ども奉仕団」のご案内

東本願寺でおともだちと一緒にあそぼう!

テーマ ほとけの子
期間 2026年7月28日(火)~30日(木)
対象 小学4~6年生
申込締切 2026年6月28日(日)
冥加金 11,000円、米2kg(1升4合)または米代1,500円 ※引率の大人は22,000円、米2kg(1升4合)または米代1,500円



各教区・開教区などの行事一覧はこちら

編集室 だより

◆「桜の開花がニュースになる国って、すてきじゃないですか」——JR東海の「そだ、京都行こう。」は、四季折々の美しい京都の風景に、ナレーションとBGMをのせたCMで話題となりました。私も小学生の頃、初めてそのCMを見て、「いつか自分もここに行きたい!」と思いました。子どもの頃は、ただきれいな景色や観光だけを目当てにしていた

が、大人になると、1200年前の人びとの暮らしや文化に興味湧き、想いを馳せるようになりました。季節は移ろいゆくものですが、古の息づかいは今も確かに感じ取ることができるような気がします。

◆「英語で味わう正信偈の世界」について、今号より電子版にて英訳を音声で聞けるようにいたしました。あわせて和訳を掲載しています。ぜひ「正信偈」の奥深い世界を味わっていただけますとうれしいです。(浅野)

900号記念キャンペーン 期間 4月1日~5月31日

1 ポストカードをプレゼント

月刊『同朋』をご購入いただいた方全員に、『同朋』の表紙絵を描いてくださっている北村さん(絵本作家・イラストレーター)オリジナルの東本願寺限定ポストカードをプレゼント!

- 1会計につき1枚
- 単号購入・年間購読どちらも対象

2 学割キャンペーン

中学生・高校生・大学生・専門学生に限り、特別価格で、年間購読できます。新生活が始まる4月から、『同朋』を毎月読んでみませんか。

通常価格 4,400円(税込・送料込)
 期間中の注文に限り、
2,200円(税込・送料込)

900号まで回顧するギャラリー展も開催

東本願寺境内にある、「参拝接待所ギャラリー」では、4月20日から5月21日まで、創刊から900号までの歩みを紹介する展示を行います。ぜひご来場ください。

参拝接待所ギャラリー